

平成31年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

自 平成31年4月 1日

至 平成32年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

平成31年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

基本方針

「平成」最後の年となる31年度（2019年度）は、公益財団法人として9年目を迎えます。

懸案だった、文化ホールと美術館の指定管理につきましては、引き続き今後5年間担うことになりました。今日までの当財団の活動に対し、多くの方々のご協力とご理解のもと、評価をいただいたものと考えております。4期目の指定管理にあたっては、利用料金制のメリットも活用しながら更なる住民サービスの向上に努め、また、区民に愛される施設運営に引き続き努力し、他団体の助成金や賛助金などの財源も活用して、質の高い事業の展開に努めてまいり所存です。

なお、両施設の老朽化に対し、前年度を皮切りに様々な対策を講じてまいります。30年度中に、老朽化が著しかった大ホールの音響設備の大規模な改修を終え、31年度には、大ホールの舞台機構や照明機器の更新工事を行う予定となっております。美術館につきましても、目黒区民センターの今後のあり方を見直す中で、種々の条件も加味しながら、次代に残せる美術館像が確立できるよう、目黒区と積極的に意見交換をしてまいります。

ところで、当財団の運営は、区の芸術文化振興プランを基本に据えながらその財政支援も得て、地域の芸術文化活動を推進しております。活動を円滑に遂行するためには、人的・物的資源の見通しを立てながら、公益法人としての責務を果たさなければなりません。29年度に公益法人法が求める「収支相償の原則」を初めて達成しましたが、一方で、中期的にみた収支の状況や事業の展開を見通すことが、必須の課題となっております。財団運営の安定化を図るため、収支見通しなどの策定にも取り組んでまいりたいと考えております。

31年度は、東京音楽大学の中目黒・代官山キャンパスの開学や、「めぐろの障がい者アート展（仮称）」の開催、旧加賀藩前田家の所蔵品展示の検討など、財団の新たな取り組みへの下地作りの年となります。

公益を目的とする財団として、「収支相償の原則」を守りつつ、また、指定管理者としてコストの抑制にも留意しながら、当財団ならではの事業を展開し、区民の皆様の期待に応えていく覚悟です。

※収支相償の原則；公益目的事業に係る収入が適正な費用を超えないと見込まれること（認定法第5条第6号）

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

○ 主催事業（5事業）

多彩で優れた芸術文化に接する機会を区民に提供するため、財団の自主財源を活用した事業

○ 共催事業（10事業）

優れた様々な主催者との連携事業

主催・共催事業とも、各年代層の要望に沿っていることや、公演のジャンルが偏らないことなどに留意するほか、美術館と連携して展覧会に合わせたコンサートの実施や、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向けた事業の展開も進めてまいります。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力のある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して施設利用（18事業）や広報等の支援をしてまいります。

また、区補助金を活用して、地震を想定した8回目となる「避難訓練コンサート」を実施します。

(3) 体験・普及事業

区補助金や他団体助成金、自主財源を充てながら、次代を担う子どもたちの育成事業や社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。

○ アウトリーチプログラム

区立小中学校

東京医療センター（25年度～）

区立特別養護老人ホーム3施設（27年度～）

心身障害者センター、区立幼稚園・こども園（28年度～）

○ ワークショップ事業

子どもから大人まで、それぞれの年代を対象に実施

(4) 受託事業

○ 目黒区文化祭（54回目）

目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ

め様々な芸術文化団体の活動を支援

○ めぐるオータムアート

音楽と美術を合わせたプログラムを実施

○ 今年度、区内に東京音楽大学のキャンパスが新たに開学することに伴い、記念コンサートを実施します。

(5) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様に利用いただく貸館事業については、常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸し出しや設備の保守管理に努めてまいります。

また、情報コーナーや受付窓口には、各種チラシなどを配備して公演等の情報提供を行ってまいります。

2 運営方針

(1) “響きの良さ”などホールの魅力について広く周知するとともに、芸術文化の鑑賞、創造、発信の場となり、より一層、地域に根差したホールとして親しまれるように、地域コミュニティに寄与する取り組みを進めます。

(2) 各種事業の実施に当たっては、他のホールや実演芸術団体と連携・協力し、文化ホールの特性を活かして創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。

(3) 「アウトリーチプログラム」については、区、教育委員会や関係する施設との連携を密にしながら、音楽を通して癒しや楽しさが感じられるように努めます。なかでも児童・生徒を対象にしたプログラムについては、芸術性の高い音楽等を通じて豊かな感性が育めるように取り組みます。

なお、「アウトリーチプログラム」に派遣するアーティストについては、文化ホールでコンサートを実施した演奏家等に依頼するなど、文化ホール活動との一体的な運営に努めます。

(4) 「目黒区文化祭」や「めぐるオータムアート」については、目黒区や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民に芸術文化に出会い、楽しむ機会を提供します。

- (5) 利用者等のニーズの把握に努め、それを反映した運営を行ってサービス向上に努めるとともに、情報紙「アートレター」の更なる充実や、ツイッター、フェイスブックなど時代に即した手法も活用して多様な広報・広告等に努め、集客力を上げるための創意工夫をしてまいります。
- (6) 公的または民間助成事業等の活用や、法人及び個人からの賛助会員の拡大に努めるとともに、企業からの協賛、広告料の獲得などを積極的に推進して収入の確保を図り、収支のバランスに留意して事業を進めます。
- (7) ホールの利用枠については、これまでの文化ホールにおける一般利用の実績や収益性、利用料金制を踏まえ、行政利用と財団利用を合わせて概ね大ホールが25%、小ホールが15%程度にとどめて運営してまいります。また、ホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。
- (8) 指定管理事業の一環として、幅広い世代の区民を対象に、気軽に質の高い音楽に触れられる演奏会を実施します。

目黒区美術館

1 事業方針

- (1) 展覧会事業
 - 自主企画展3展
区民が親しみを感じ、特色のある展覧会
 - 指定管理事業2展
美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展
 - 受託事業1展（初開催）
「めぐろの障がい者アート展（仮称）」を区民ギャラリーを使用して開催
 - 年間の開館日数及び年間入館者数目標
区展を加え200日程度
6展で3万5千6百人

観覧料の区民向けの特典について、昨年度に引き続き、区と協議してまいります。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通じて感性を育む事業として例年行っている夏・春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。

(3) 調査研究

美術館の基本的な事業の一つである地域の文化資源等の研究のほか、個々の学芸員の専門性を生かしながら、今後の美術館事業を見据えた調査研究を継続して行います。これまでの30年間の蓄積を次代に繋げ、これからの美術館事業を担うため、美術館の今後のあり方について区に提案するとともに、目黒区美術館のあるべき姿等について検討してまいります。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街等との協力関係の構築に努めるとともに、区や他団体等との連携を図り芸術文化活動の推進に努めます。

(5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用などに留意しながら、展示や撤去時等の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として、より一層適正な運営に努めます。また、引き続き、空き利用の料金設定等に係る区との協議やPR等を工夫しながら新規利用者の増加を図ってまいります。

2 運営方針

- (1) 事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業ごとの収支バランスに留意します。

- (2) 広報の一環として、ホームページのほかツイッター、フェイスブックなど**SNS**を活用した情報発信について、これまでの効果等も検証しながら有効性が高まるように努めます。また、平成30年に整備された無料**Wi-Fi**環境を活かしたスペシャルコンテンツの充実に努めてまいります。
- (3) ギャラリーツアー等は、授業時数の増加や授業内容の変化などにより、来館する学校数が減少している状況です。今後は、校長会や図工部会など関係者と協議しながら、子どもの鑑賞活動機会の拡充が図れるよう努めます。
- (4) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。
- (5) 所蔵作品目録の改訂統合版の完成を目指します。

平成31年度 目黒区文化ホール 事業計画(案)

I 自主事業

1 鑑賞事業 (15事業・63公演)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,261,448	4,071,375	0	809,927
	クラシック	2	11月	大ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前に来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施。	2	7,744,300	* 5,742,340	0	△ 2,001,960
		3	12月	小ホール	○ 郷古廉+横坂源+加藤洋之トリオ(仮称)	著名なアーティストによる室内楽公演。	1	1,269,880	533,000	0	△ 736,880
	ポピュラー	4	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演。	1	705,700	510,000	0	△ 195,700
	その他	5	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演。	1	446,604	105,000	0	△ 341,604
	次年度	0	1~3月	小・GTホール	★ めぐるで第九2020合唱団練習	平成32年度の2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成のため第九公演を実施する。	0	400,000	585,000	0	185,000
0			0	○ 次年度準備	次年度準備経費。	100,000		0	0	△ 100,000	
共催	バレエ	1	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「第7回バレエ祭り」	区内にある東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント。	40	55,200	55,200	0	0
	クラシック	2	夏頃	小・GTホール	★ レクチャー付室内楽公演	(一社)ミュージック・ダイアログとの共催による、レクチャー付室内楽公演。	2	6,624	6,624	0	0
	ダンス	3	7月	大ホール	★ ダンスカンパニー「Noism」	ダンスカンパニー「Noism」15周年記念公演	3	33,120	33,120	0	0
		4	11月	大ホール	★ コンドルズ遊育計画2019	NHKエデュケーション主催の親子向けダンスイベント	2	19,872	19,872	0	0
	ポピュラー	5	7月	大・小ホール	○ ジャズ・ワールドビート2019	ブランクトン主催のジャズフェスティバル。	2	53,544	53,544	0	0
		6	8月	大ホール	★ 杏里 LIVE 2019	東京労音主催による著名アーティストのコンサート	1	68,448	68,448	0	0
		7	11月	大ホール	☆ ピアノエラ	国内外のピアニストによるピアノフェスティバル。	2	44,700	44,700	0	0
		8	1月	大ホール	○ デキシールランド・ジャズ・ジャンボリー	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるジャズコンサート。	1	15,732	15,732	0	0
	伝統芸能	9	5月	小ホール	☆ 高橋竹童 津軽三味線	サウンドポート主催による津軽三味線の公演。	1	17,388	17,388	0	0
		10	春、夏、秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演。	3	231,840	231,840	0	0
合計	15					63	14,474,400	12,093,183	0	△ 2,381,217	

* (公財)東京都歴史文化財団から助成金290万円(予定)を含む。

2 地域の芸術文化・支援事業

(18事業・21公演)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第8回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	551,000	0	551,000	0
		2	冬頃	小ホール	○ 東日本大震災復興支援事業	目黒区と友好都市である宮城県気仙沼市等への復興支援事業。	1	2,621,300	*1 1,195,000	0	△ 1,426,300
	新進支援	3	1月・3月	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進気鋭のアーティストによるコンサート。	2	1,394,360	800,000	0	△ 594,360
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール。	1	73,000	0	0	△ 73,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演。	1	1,500	1,500	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演。	1	1,000	1,000	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 *2	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GT プラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート。	2	900	900	0	0
		6	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 * 2	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	4,000	4,000	0	0
		7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 * 2	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0
		8	6月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会。	1	30,000	30,000	0	0
		9	6月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ(能)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演。	1	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティーコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティーコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演。	1	3,520	3,520	0	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第17回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント。	1	300,000	0	150,000	△ 150,000
		12	6月	大ホール	○ ユネスココンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会。	1	7,500	7,500	0	0
		13	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート * 2	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	4,000	4,000	0	0
		14	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	バイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0
	子育て支援	15	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	7,500	0	0
合計		18				21	4,999,580	2,054,920	701,000	△ 2,243,660	

*1 (一財)地域創造から助成金100万円(予定)を含む

*2 パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体

3 体験・普及事業 (4事業・32公演)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	ワークショップ	1	6、7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ。	2	1,679,640	* 1,537,640	0	△ 142,000
		2	冬頃	小ホール	○ 大人のためのワークショップ	大人を対象にしたワークショップ。	1	1,100,000	30,000	0	△ 1,070,000
	アウトリーチ	3	年間	小中学校等	○ 学校アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。	21	4,154,332	0	3,300,000	△ 854,332
		4	年間	その他	○ 学校以外のアウトリーチプログラム	様々な目黒区内の場所にアーティストが出向き、演奏等を実施。(病院等)。	8	700,500	0	0	△ 700,500
合計	4					32	7,634,472	1,567,640	3,300,000	△ 2,766,832	

* (公財)北野生涯教育振興会から協賛金140万円(予定)を含む

公演等事業 (自主事業) 合計	27,108,452	15,715,743	4,001,000	△ 7,391,709
-----------------	------------	------------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

	名称 (○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
				チケット・ 参加費等	区補助金	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料。	870,000	0	500,000	△ 370,000
	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料。	481,980	0	477,560	△ 4,420
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援する。	50,000	0	0	△ 50,000
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営。	38,000	884,800	0	846,800
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布。	5,588,800	862,400	2,098,800	△ 2,627,600
	★ その他全体広報	ホール全体等の広報、記録等	200,000	0	0	△ 200,000
合計			7,228,780	1,747,200	3,076,360	△ 2,405,220

(37事業・116公演)	ホール自主事業 計(公演等事業＋運営費)	34,337,232	17,462,943	7,077,360	△ 9,796,929
--------------	----------------------	------------	------------	-----------	-------------

II 指定管理事業

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	指定管理料	
指定管理事業	1	秋頃	大ホール	○ クラシック等のコンサート	幅広い世代に、気軽に質の高い音楽に触れる機会を目的としたコンサート。	1	3,838,310	2,580,600	1,257,710	0
合計	1					1	3,838,310	2,580,600	1,257,710	0

ホール自主事業＋指定管理事業	38,175,542	20,043,543	8,335,070	△ 9,796,929
----------------	------------	------------	-----------	-------------

公演等事業(自主事業)＋指定管理事業(受託事業)	30,946,762	18,296,343	5,258,710	△ 7,391,709
--------------------------	------------	------------	-----------	-------------

III 受託事業

区分	事業・公演					支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容		公演数	チケット・ 参加費等		区委託料
共同主催	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第54回目黒区文化祭	日舞、合唱、民謡、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	13	1,928,136	0	1,928,136	0
	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	811,200	140,000	671,200	0
	3	12月	大ホール	★ 東京音楽大学開校記念コンサート(仮称)	2019年4月に東京音楽大学が目黒区にキャンパスを新設し、その開校を記念するコンサート	1	2,180,000	530,000	1,650,000	0
合計	3					16	4,919,336	670,000	4,249,336	0

ホール自主事業＋指定管理事業＋受託事業	43,094,878	20,713,543	12,584,406	△ 9,796,929
---------------------	------------	------------	------------	-------------

平成31年度 目黒区美術館事業計画(案)

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	区補助金	
1	「世紀末ウィーンのグラフィックデザインそして生活の刷新にむけて」展	4月13日(土)～ 6月9日(日)	19世紀末のウィーンで、グスタフ・クリムトを会長として設立されたウィーン分離派。その活動や思想、作品は、機関誌『ヴェル・サクルム(聖なる春)』のような雑誌や、書籍、ポスターなどのグラフィックにより、広く人々に伝えられました。この度は、京都国立近代美術館のコレクションより、美しいだけでなく、見る者に強い訴求力をもつ、19世紀末ウィーンのグラフィック作品と、同時代の貴重な家具など、約300件を取り上げます。同館とは、平成21年に「上野伊三郎+リチコレクション展」においても協働し、相互の研究成果を共有してきました。世紀末における世界都市ウィーンの息吹と魅力をお伝えします。(巡回開催:京都国立近代美術館 全2会場。)	8,900,000	5,300,000	0	△ 3,600,000
2	「太田喜二郎と藤井厚二ー日本の光を追い求めた画家と建築家」展	7月13日(土) ～9月8日(日)	目黒区美術館の館蔵作家である洋画家の太田喜二郎(1883-1951)は、20世紀初頭にベルギーに留学し、同地の印象派に影響を受け、帰国後は京都を拠点に活躍します。太田のアトリエは、建築家、藤井厚二(1888-1938)により設計されたものです。藤井は、海外歴遊体験の時に見聞した西洋の様式と日本の気候風土を融合させた環境工学を研究し「日本の住宅」を追求しました。その究極が、近年注目を浴びている大山崎にある自邸「聴竹居」です。絵画と建築という異なる分野で活躍した二人は、ともに西洋と日本の文化の融合および自然の中で移ろう光を自作に取り込むことを追い求めました。油彩や水彩、卷子、設計図面から家具まで、多様な作品により二人の制作への取り組みを探ります。(巡回開催:京都府京都文化博物館。全2会場。)	13,240,000	6,280,000	6,960,000	0
3	「線の迷宮<ラビリンス>Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿」展	10月12日(土) ～12月1日(日)	目黒区美術館では、線による表現の可能性を追求する展覧会として、平成14年に「線の迷宮<ラビリンス>ー細密版画の魅力」を皮切りに、平成19年には第2弾として「線の迷宮<ラビリンス>ー鉛筆と黒鉛の旋律」を開催しました。この度は、同シリーズ展の第3弾として、現代の細密絵画と19世紀の植物画を取り上げます。濃密な色彩表現で、架空の人生や寂れていく時代を博物画のように描き出す齋藤芽生の《徒花図鑑》を中心とした作品群を、19世紀の植物画家ソーントンの《フローラの神殿》とともに構成し、時代を超え共鳴する両者の不思議な世界観に迫ります。	11,030,000	4,730,000	0	△ 6,300,000
4	次年度展覧会準備経費	—	—	1,624,000	0	0	△ 1,624,000
				34,794,000	16,310,000	6,960,000	△ 11,524,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	指定管理料	
1	めぐろの子どもたち展	平成32年1月18日(土)～2月2日(日)	目黒区立の幼稚園・子ども園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものにしたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介し、あわせて米国のジョージア州チェロキー郡の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,790,000	0	1,790,000	—
2	「目黒区美術館コレクション」展(仮称)	平成32年2月15日(土)～3月22日(日)	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。この度は、昨年度新たに収蔵された山下新太郎ほかの魅力的な作品を交えて、展覧します。	3,942,000	1,472,000	2,470,000	—
				5,732,000	1,472,000	4,260,000	—

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区補助金	
1	ワークショップ (1)夏	建築教室—光と遊ぶ	7月～9月	小学生、中学生、大人	4コース程度+遊びの広場	夏の「太田喜二郎と藤井厚二展」に関連して、建物や光をテーマに構成します。	946,300	210,000	736,300	—
2	ワークショップ (2)春	からだのワークショップ	平成32年 2月～3月	小学生～大人	3コース程度	私たちは作品を見るとき自分の「からだ」を使っています。「からだ」をテーマに美術との関係を探ります。	688,760	165,000	113,700	△ 410,060
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。当館の、プロの建築家によるガイドスタッフがご案内します。	715,000	320,000	—	△ 395,000
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月、12月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための 美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。展覧会担当学芸員等が、担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れていきます。				
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今回で9回目の開催となります。				
8	美術講座		夏以降	高校生以上	3-4回程度	当館館長のシリーズによるトークや、美術館ならではのテーマによる講座を開催します。				

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定していきます。

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位:円)

NO	展覧会名・事業名	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
							展示事業等	区委託料		
1	めぐろの障がい者アート展 会場:区民ギャラリー(仮称)	8月7日(水) ～18日(日)	—	—	目黒区内に6か所ある障がい者通所施設を中心に、区内在住の障がいのある方が作った作品を紹介します。展覧会とともに、どなたでも参加頂けるワークショップなどの催しも行う予定です。	4,200,000	0	4,200,000	—	
2	めぐろオータムアート	秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	198,800	12,000	186,800	—	
							4,398,800	12,000	4,386,800	—

美術館自主事業+指定管理事業+受託事業	47,274,860	18,489,000	16,456,800	△ 12,329,060
---------------------	------------	------------	------------	--------------

【その他事業】

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)※日程については予定

1) 華茶道展:4月 2) 自主グループ展:4月 3) ユネスコ展:11月

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

1) 目黒区書作家協会展:5月 2) 目黒区美術家協会展:6月 3) 目黒区美芸作家協会展:平成32年3月

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

1) 区展(区民作品展):9月18日(水)～29日(日)